

あとがき

相鉄グループ100年史は、2014年12月10日開催の常務会で発行を決議して以来、今日まで4年の年月をかけて作業を進めてまいりました。

当社は、創立40周年以降、通史を3回、10年史を3回作成し、通史は70年史が最後となりました。これらで使用した資料は、写真を除き、紙ベースで保存されており、経年による劣化や紛失などが懸念されていました。

当社の社史は、創業当時から現在までの社歴に触れ、創業の原点と事業の変遷を知る企業史料として、また次の時代に向けた戦略をグループ従業員に浸透させるための研修・広報資料として、社内外での写真利用にあたっての目録としてなど、幅広い用途で活用されています。そのため100年史は、当初からデジタルコンテンツによる制作を基本として進められ、写真や動画、資料類もすべてデジタル化し、資料アーカイブとすることで、より広く利用される仕組みを構築することにしました。

100年史は、2005年度より当社がグループ経営体制に移行したことを踏まえ、グループ全体の100年史として編纂することに決定しました。そして、100周年記念事業の実行組織として、相鉄グループイメージアップ戦略委員会を立ち上げ、編纂作業は当委員会のメンバーが中心となってスタートしました。

30年ぶりの通史、さらにグループ全体の通史ということで、資料集めや事実確認の作業量は、

当初の想像をはるかに超え、困難を極めました。専任2名で始めた編纂作業は、発行が迫った2018年には8名に増員して臨み、終盤では大日本印刷の方々をはじめ、グループ内外の関係各位に甚大なるご協力を賜り、皆様のおかげで発刊を迎えることができました。

通史と併せて、より読みやすく内容をコンパクトにまとめた普及版も初めて制作しました。これは一人でも多くの方に当社グループを知っていただくために、写真を多用し、気軽に手に取りやすい内容にまとめたものです。装丁は、good design companyの水野学氏が引き受けてくださいました。

編纂を終えて、当社グループの100年を振り返りますと、先人が築き上げた数多くの財産と信頼の上に今日我々が事業に取り組んでいることを深く実感し、心から敬意を表する次第です。あとに続く後輩諸氏が、歴史的事実とそれを支えた先人の努力の足跡に学び、相鉄グループの限りない未来のための指針の一助として、本史を活用してくださるならば、社史編纂者一同これに勝る喜びはありません。

最後に、長期にわたりご指導・ご協力を賜った社内外の皆様へ、改めて心から感謝し、厚く御礼を申し上げます。

2018年12月18日

相鉄グループ100年史 編纂事務局